

地域枠で入学したら チート級の臨床スキル をゲットできた件

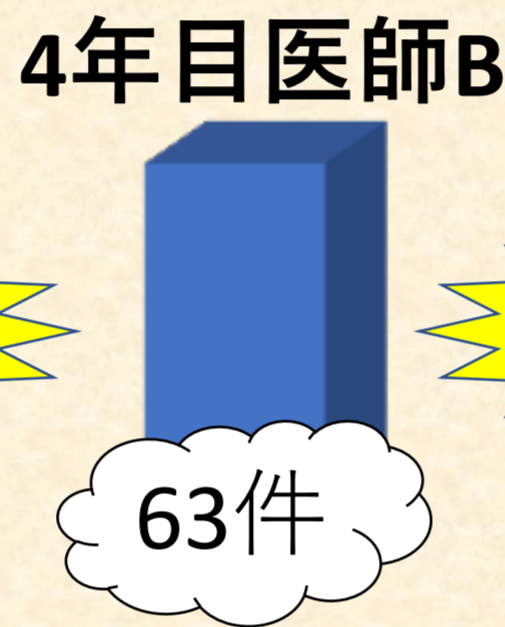


氏名 **湯浅 諒汰** 平成24年 道北・道東地域枠で入学
平成30年 旭川医科大学卒業

略歴
研修医1年目 旭川厚生病院で初期研修
研修医2年目 利尻町で地域研修&旭医耳鼻科で研修
専攻医1~2年目 北見赤十字病院で研修

本来なら専攻医1年目は大学病院での研修になりますが、地域枠のため旭川市で勤務することができませんでした…キャリアに遅れが出ないように耳鼻科の関連病院である北見赤十字病院で研修させていただくことになりました。

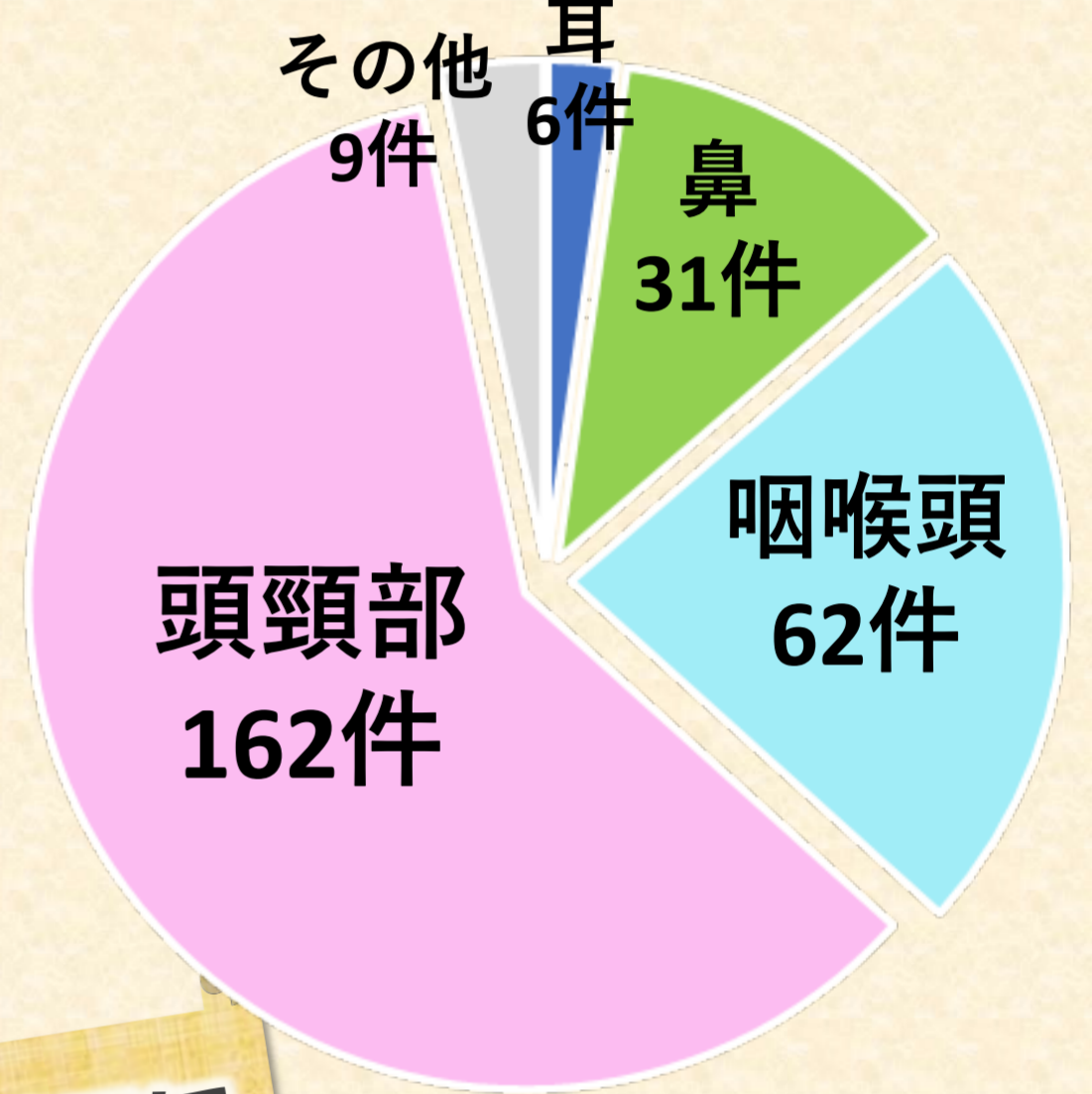
実際の年間手術執刀件数



4年目 湯浅

166件

執刀した手術の内容



耳鼻咽喉科を選んだ理由

初めは子どもの役に立ちたくて小児科と耳鼻科で迷っていましたが、ポリクリが始まってから手術への興味が湧いてきたことが決め手になりました。医局の雰囲気がとても良く、一緒に働きたい、耳鼻科の一員になりたいと思いこの科を選びました。

実際に耳鼻科医になってみて

想像以上に分野が広くて手術がたくさん！

特に耳鼻科は若手の頃からたくさんの手術をさせてもらえるので満足感が非常に高いです。逆に難しい手術やマニアックな分野もあるためベテランになっても飽きることなく仕事ができそうです。

上のグラフの通り、地域枠で入学したのに同世代の誰よりも手術をしています。

具体的な手術の内容としては口蓋扁桃摘出術や気管切開といった初心者向けの手術から頸部郭清術や内視鏡下甲状腺手術、喉頭全摘術といった高難度の手術まで経験させていただいたことにより・・・チート級の臨床スキルをゲットしました。

地域枠に対するキャリア支援

地域枠でのキャリア形成について医局の先生方は親身に相談に乗ってくれました。専門医取得や大学院進学に遅れや制限が出ないように人事を考慮してくれます。関連病院が多い医局だからこそできる支援をしてくれています。



学生へのメッセージ

皆さんの中で耳鼻科はどんなイメージでしょうか。実はみんなが思っているよりも色々なことをやっていて、活躍する場面が多くてプライベートも充実していて、カッコいい診療科なんです。特に旭川医大の耳鼻科は臨床・研究どちらも世界最先端でありとてもやりがいを感じながら仕事をすることができます。若手医局員や関連病院が多いことも強みであり、働いてみるとそのありがたさに驚きます。少しでも興味があればもっと詳しく説明するので医局に遊びに来てください！

